


平成20年度「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」

意見交換会 09/2/13
キャリア形成・就職支援

卒業成長値を高める 『10の底力』

東京女学館大学
国際教養学部准教授・キャリア開発部長
加藤千恵（プログラム担当）

 東京女学館大学
Tokyo Jogakkan College

「10の底力」プログラムの目的

自らのキャリアを切り開いていけるように
社会人として必要な基礎力を身につける

キーワード	①10の底力 ②卒業成長値 ③少人数教育 ④オーダーメイドのキャリア教育 ⑤学生満足度
方法	すべての授業において「10の底力」プログラムを実践
東京女学館大学の教育	<教育目標> 国際的な視野とリーダーシップ能力を身につけた女性の育成 <学生支援の特徴> 少人数による 討論・対話型授業 アドバイザー教員による修学・学生生活支援

 東京女学館大学
Tokyo Jogakkan College

大学全入時代・ビジネス界の要請→学部教育への期待

経済産業省「社会人基礎力」

前に踏み出す力(アクション)	①主体性 ②働きかけ力 ③実行力
考え抜く力(シンキング)	④課題発見力 ⑤計画力 ⑥創造力
チームで働く力(チームワーク)	⑦発信力 ⑧傾聴力 ⑨柔軟性 ⑩状況把握力 ⑪規律性 ⑫ストレスコントロール力

文部科学省「学士力」

知識・理解	多文化・異文化に関する知識の理解, 人類の文化, 社会と自然に関する知識の理解
汎用的技能	コミュニケーションスキル, 数量的スキル, 情報リテラシー, 論理的思考力, 問題解決力
態度・志向性	自己管理能力, チームワーク, リーダーシップ, 倫理観, 市民としての社会的責任, 生涯学習力
統合的な学習経験と創造的思考力	

カリキュラム(2006～)

コミュニケーション科目	総合英語, 日本語文演習, フランス語, 中国語, スペイン語, ハングルなど	
基礎科目	体育, 哲学, 宗教学, 文化人類学, 政治学, 情報科学, 生命の科学など	
ライフデザイン科目	キャリアマネジメント, リーダーシップとジェンダー, リーガルリテラシーなど	
研究法科目	情報基礎演習, 社会調査法演習, 社会学研究法, 心理学研究法など	
専門科目	国際関係科目	国際時事問題, 国際関係論, 国際機構論, 国際協力, 国際開発, 国際法, 国際情報論, 地域研究など
	経済・経営科目	国際経済, 経営戦略論, 経営組織論, 人材育成論, 経済政策, 金融論, 非営利組織論など
	心理・社会科目	社会心理学, 環境社会学, 社会病理学, 臨床心理学, 発達心理学, 産業・組織心理学, 教育社会学など
	比較文化科目	日本の伝統文化, アジアの芸術文化, 比較文化論, 文化摩擦, アメリカ文化論, 中東・イスラム文化論など
	ジェンダー科目	芸術とジェンダー, 歴史とジェンダー, 労働とジェンダー, メディアとジェンダー, 科学とジェンダーなど
課題研究科目	課題研究Ⅰ・Ⅱ, 課題研究Ⅲ・Ⅳ(卒業論文)	

キャリア教育における「10の底力」プログラムの位置づけ

東京女学館大学「10の底力」

- ①コミュニケーション能力 ②プレゼンテーション能力
- ③ディスカッション能力 ④国際感覚・多文化理解能力
- ⑤外国語運用能力 ⑥調査能力 ⑦IT能力
- ⑧クリティカル思考 ⑨コンセプチュアルスキル(問題発見・提案・実行力)
- ⑩自己理解能力

キャリア教育 3つの柱

1. 仕事・キャリアについて考える授業	2. 学生一人一人へのサポート体制	3. 卒業成長値を高める「10の底力」
キャリアマネジメント, キャリアプラン講座, インターンシップなど	キャリアカウンセラー面談, 就活支援講座, 卒業生キャリア講座など	専門分野を学びながら社会で必要とされる能力を伸ばす

tjk 東京女学館大学
Tokyo Jogakkan College

「10の底力」向上プログラムの流れ

その授業で伸ばすことのできる「10の底力」が2つ提示される



学びたい分野・伸ばしたい能力を考えながら授業を選択する(オーダーメイド型)



最後の授業で自己評価を行う(2, 1, 0で採点)



評価結果(チャート)を受け取る



アドバイザー, キャリアカウンセラーの支援を受けて次の学期の計画を立てる



tjk 東京女学館大学
Tokyo Jogakkan College

実践例 (1)

ハンゲルⅡ (コミュニケーション科目)

④国際感覚・多文化理解能力 ⑤外国語運用能力を高める



情報社会論 (基礎科目)

③ディスカッション能力 ⑧クリティカル思考能力を高める



ジェンダー論 (基礎科目)

②プレゼンテーション能力 ④国際感覚・多文化理解能力を高める



体育 (基礎科目)

①コミュニケーション能力 ⑩自己理解能力を高める



fjk 東京女学館大学
Tokyo Jogakkan College

実践例 (2)

国際関係論 (専門科目:国際関係)

④国際感覚・多文化理解能力 ⑧クリティカル思考能力を高める



国際開発 (専門科目:国際関係)

④国際感覚・多文化理解能力 ⑤外国語運用能力を高める



米文学概論 (専門科目:比較文化)

②プレゼンテーション能力 ④国際感覚・多文化理解能力を高める



家族とジェンダー (専門科目:ジェンダー)

②プレゼンテーション能力 ③ディスカッション能力を高める

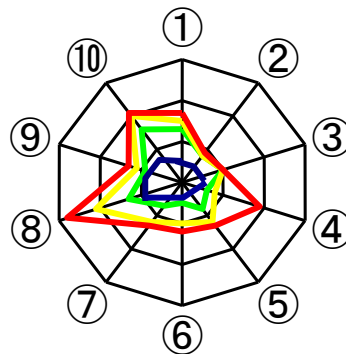
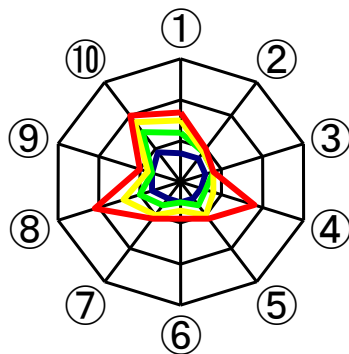


fjk 東京女学館大学
Tokyo Jogakkan College

卒業成長値:個人別チャート (入学から卒業までに伸びた力)

教員による学生評価

学生による自己評価



*「教員による学生評価」は成績と連動させない * ①～⑩は「底力」の番号に対応

fjk 東京女学館大学
Tokyo Jogakkan College

FD・SD体制の充実:研修会の開催

学生のコミュニケーション能力を
高めるための教職員研修会



学生のプレゼンテーション能力を
高めるための教職員研修会



fjk 東京女学館大学
Tokyo Jogakkan College

学生アンケート結果(1)

実施時期 2008年11月 回収数 217

図1. 授業選択への活用度
「身につけたい能力を考えて
授業を選択したか」

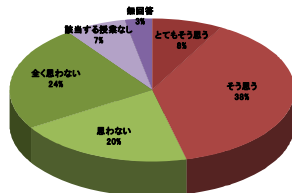
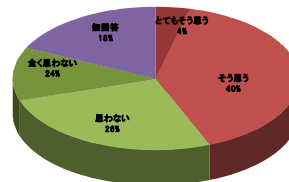


図2. 授業への評価
「身につくとされた能力が伸ばせる
ように授業が行われていたか」



「授業選択への活用」と他の質問項目との関係

- (1) 3・4年生より1・2年生の方が「10の底力」を考えながら授業を選択
- (2) 本プログラムの目的を理解している学生の方が授業選択に活用
- (3) 授業を高く評価したのは「10の底力」を考えながら授業を選択した学生
- (4) 少人数対話型授業の特色が生かされていた、コミュニケーション能力が高まったと回答したのは、「10の底力」を考えながら授業を選択した学生

tjk 東京女学館大学
Tokyo Jogakkan College

学生アンケート結果(2)

実施時期 2009年1月 回収数 54 (1年生)

図3. 「10の底力」を伸ばしたいと思うか

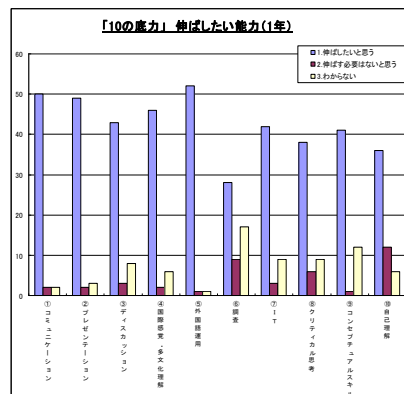
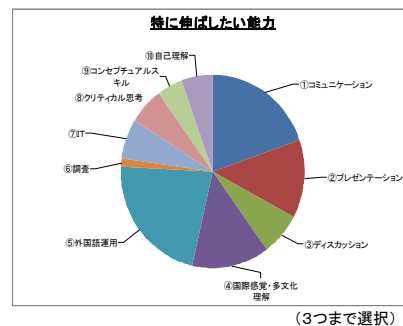
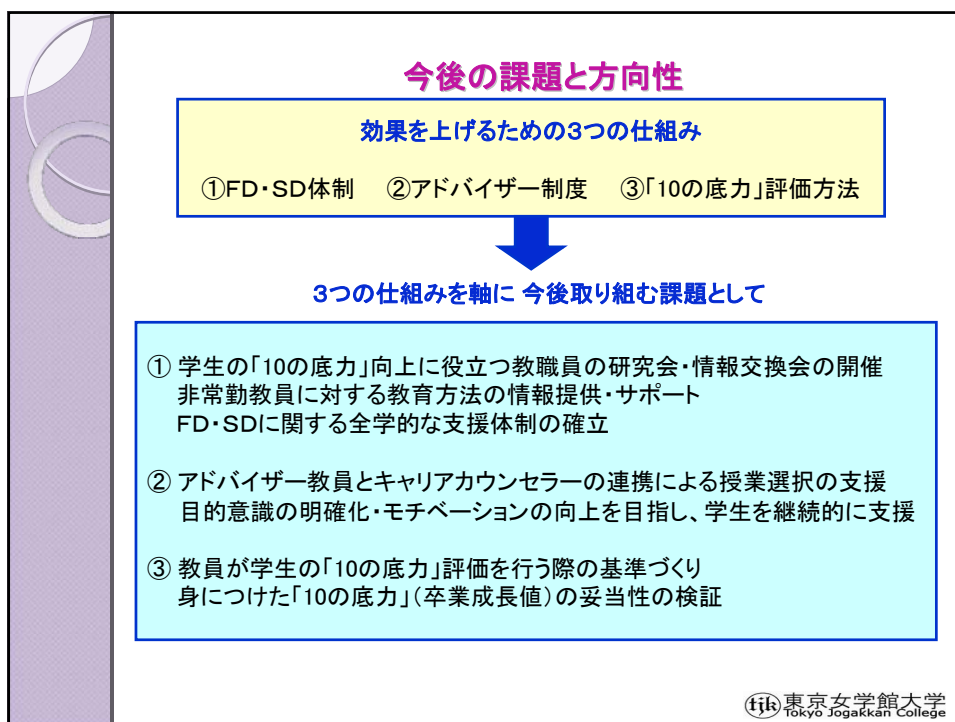
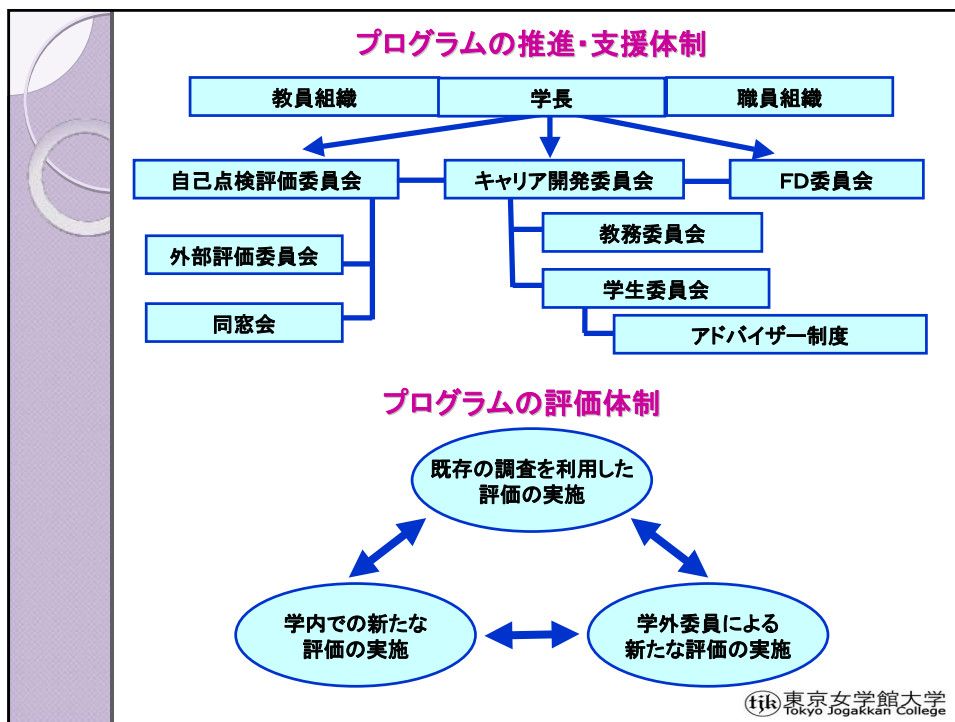


図4. 特に伸ばしたい能力はどれか



1年生が伸ばしたいと思っている能力
外国語運用能力, コミュニケーション能力,
プレゼンテーション能力,
国際感覚・多文化理解能力

tjk 東京女学館大学
Tokyo Jogakkan College





平成20年度 学生支援GP

卒業成長値を高める「10の底力」

東京女学館大学	http://www.tjk.ac.jp/
プログラム担当 加藤千恵	kato@m.tjk.ac.jp
学生支援GPルーム	gakugp@m.tjk.ac.jp
	042-796-9231 (直通)

ご清聴ありがとうございました。

